

年頭所感

明けまして

おめでとうございます

地質調査所長 沢 俊 明

昭和60年の年頭に当り 読者の皆様からの地質調査所の研究業務に対する日頃のご理解 ご協力に対しまして深く感謝を申し上げます。

当所は明治15年(1982)創立以来 地質及び地下資源に関する総合的な調査研究機関として わが国の社会・経済の発展 国民福祉の向上及び国際協調に貢献して参りました。この間の先輩各位のご苦勞 ご努力に深く敬意を表しますとともに 関係各位のご支援 ご鞭達に心からお礼を申し上げます。

ご承知のように 今日 わが国が経済社会の高度化 複雑化や人間社会の問題等数々の課題に対処しつつ 国際化の進展の中で経済の安定成長 国民生活の質的向上のため 科学・技術に対する期待は益々大きくなっております。特に 1980年代は21世紀に向けての技術革新の胎動期とされ 国としても創造的技術開発の積極的展開が図られております。

このような科学と技術に対する社会的要請の中で 当所は地球の自然認識を基盤とし 資源・エネルギーの評価と探査 自然環境の評価と災害の予測等を行って社会的要請に応え 併せて 地球科学の進歩に寄与することを研究の方針として 昭和60年度は 下記のような重点分野について積極的に研究を推進いたします。

1) 国土及びその周辺海域の地球科学的実態の解明

日本列島及びその周辺海域の地球科学的実態の解明を通じて 地下資源の探査や評価ならびに国土の利用と保全のために重要な基礎資料となる各種の地質図の作成 (とくに国土の基本図としての5万分の1地質図幅 周辺海域の海底地質図 空中磁気図の作成等)

2) エネルギー・鉱物資源の評価と探査

ナショナルセキュリティの観点から国内では 特に陸域深部及び海域の資源ポテンシャルの評価 地熱資源の分野では地熱系の生成モデルの確立 鉱



沢 俊明 所長

物・化石燃料資源の分野では実用化モデルを目標として 評価と探査手法の確立を図る。

3) 国土の利用・環境保全 自然災害の予知・防止

生活環境保全の立場から 国土地質情報の提供と自然災害の予知・防止等の対応策の確立を目標とし 地震予知 火山噴火予知 地下空間利用 地盤沈下 陸・水域の公害防止技術等の分野を通じて 地球の過去の基本的事実の追求により それぞれに対する予測手法の確立を図る。

4) 国際研究協力・技術協力

国際化の進展の中で 研究協力及び技術協力を一層推進し 国際社会における我が国の責務を果す。

また 将来の研究開発のシーズを育てるため 創造性豊かな かつ先導的地球科学全般にわたる目的基礎研究を充実して参ります。さらに 情報化社会に対応し 地球科学的な情報の整備などを図っていく考えです。

今後共 当所の基本的役割を踏まえ 関係機関との連携を図り 社会からの期待の変化を十分に認識しつつ 研究開発能力の強化を図っていく所存ですので 皆様の一層のご支援 ご協力をお願い申し上げ 年頭の挨拶といたします。